

令和4年12月市議会定例会  
建設部  
建設委員会資料 (差替分)

目 次

【報告事項】

- |                         |       |     |
|-------------------------|-------|-----|
| 1. 親水広場の再整備について         | ..... | 1 頁 |
| 2. 令和4年度道路除雪実施計画の概要について | ..... | 5 頁 |

# 1 親水広場の再整備について

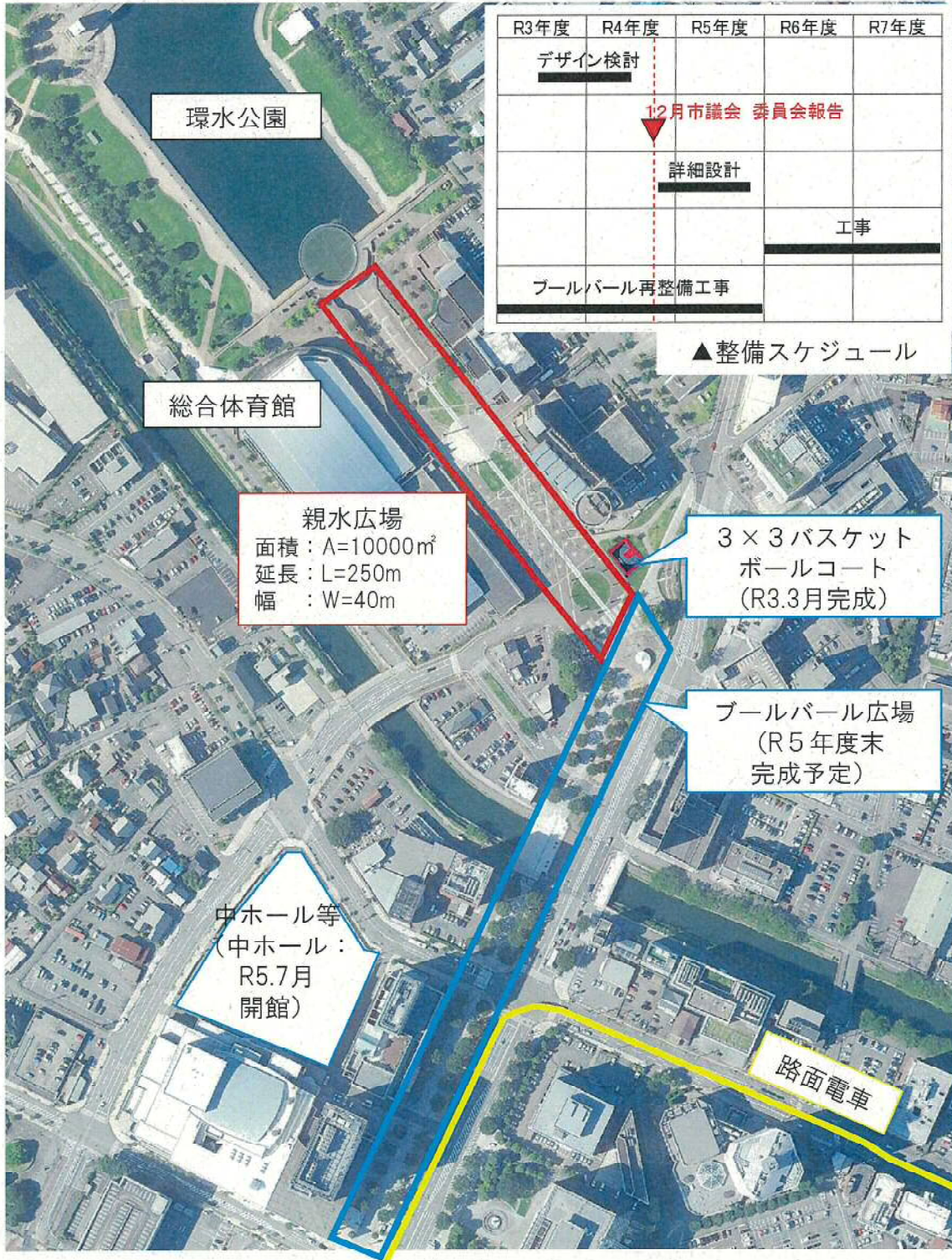
[建設政策課]

## 1 概要

親水広場は、平成11年に「とやま都市MIRAI計画」の事業において整備した、プールバールと富岩運河環水公園を結ぶ多目的広場である。

完成から20年余りが経過し、施設の老朽化が著しく、また、イベント時には一体的な広いスペースとして活用ができない等の課題がある。

このことから、富山駅北地区のさらなる魅力向上を図るため、整備を進めているプールバール広場と連携した、交流・賑わいの空間として再整備を行うもの。





## 2 課題

### (1)施設の老朽化や損傷が著しい

- ベンチは鋼管の破損や木座面の腐食が発生し、使用できない箇所が多数ある。
- 照明は支柱の塗装のはがれや錆がみられる。
- 舗装タイルのひび割れや損傷がみられるほか、段差や水たまりも発生している。



ベンチ

破損し、使用できない箇所が多数



照明柱

塗装がはがれており、錆が見られる



タイルの破損状況



タイルの養生状況

### (2)施設利用者のニーズとマッチしていない

- 広場利用者やイベント・周辺事業者などにニーズ調査(322人、12事業者)を行ったところ、利用者からは、「テーブルやベンチなどの休憩施設が少ない」、「屋根付きスペースがほしい」などの意見や、事業者からは「イベント活用時にベンチや芝生などが障害となる」、「外観照明が暗い」などの課題のほか、「イベントに対応できる床面の耐久性がほしい」などの要望があった。



### 3 再整備の方向性

#### (1) 広場の位置付け

- ① 富山駅から約500mの位置(駅から徒歩約10分でアクセス)
- ② プールバール広場や環水公園と連続した広場(交流・賑わい空間)
- ③ 太陽や緑など自然が感じられるオープンスペース(他の広場との差別化)

#### (2) 整備の方針

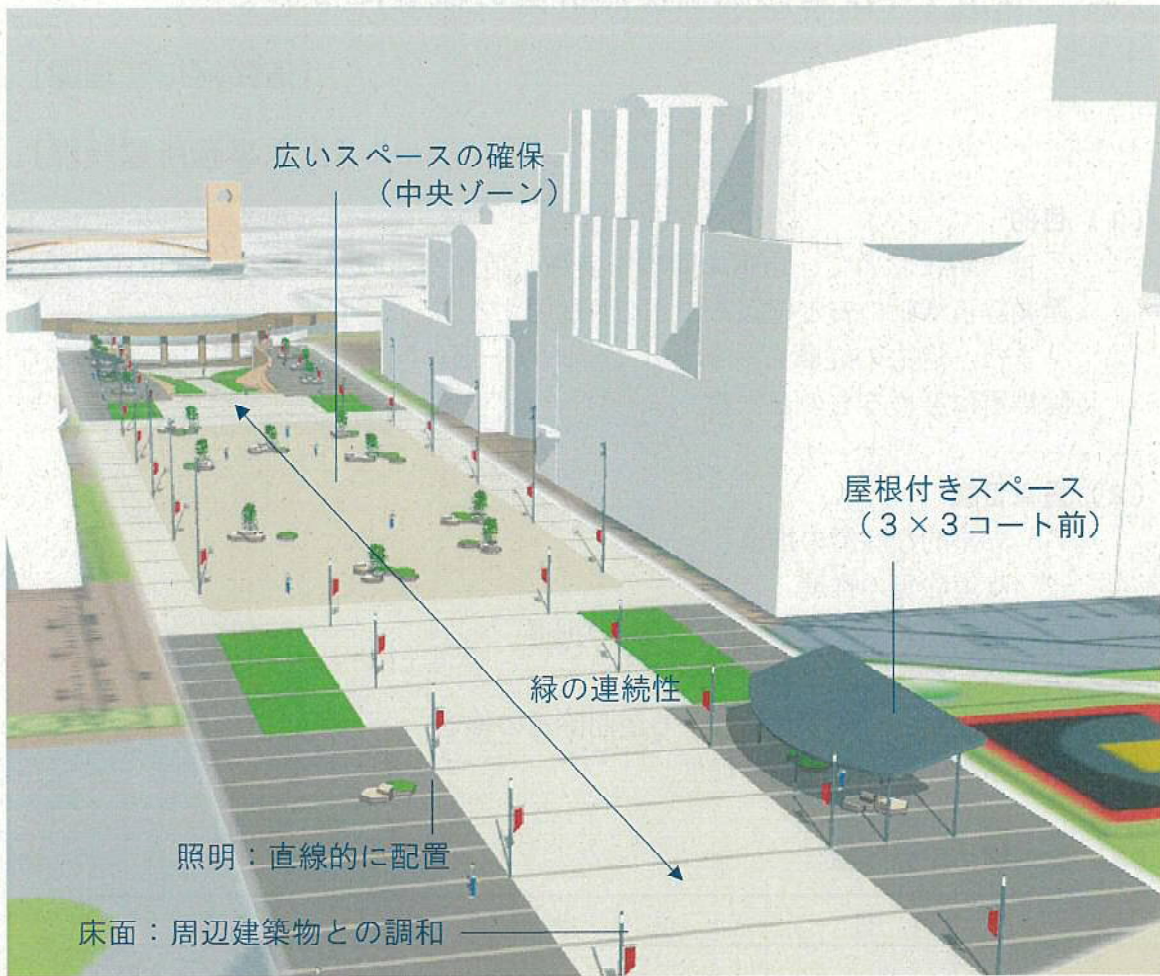
- ① 自由でゆとりのある開放的な屋外の広場とするため、施設の配置を工夫  
→多様なイベントに対応できるよう、中央ゾーンに広いオープンスペースを確保
- ② プールバール広場の整備コンセプト「緑の都市空間」と連携し、まちなかにおいて気軽に利用できる広場として整備  
→芝生広場の設置  
人工芝を設置した可動ベンチの採用
- ③ 照明は、歩行者動線などを意識し、プールバール広場と環水公園をつなぐ軸として、直線的に配置
- ④ 大型車両(大型ビジョン搭載車、資機材搬入など)の進入が可能な床面を整備
- ⑤ 周辺との調和を図るため、施設のデザインに配慮  
→総合体育館や自遊館、環水公園等のレンガ調のデザインと調和した床面を整備
- ⑥ 隣接スポーツ施設の利用者に配慮した施設整備  
→「トヤマタウントレッキングサイト」や「3×3コート」利用者の利便性向上を図るため、屋根付きスペースを2か所に整備
- ⑦ イベントに対応した電気・給排水設備の要所への配置

#### <イメージパースA>

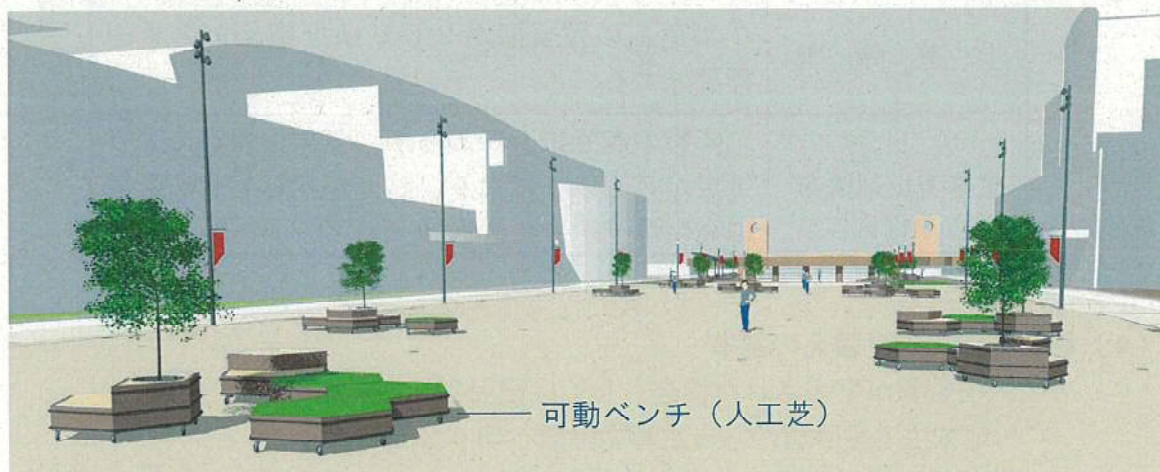




<イメージパースB>



<イメージパースC>



4 新たな広場の活用イメージ

- ・ フットサル大会 (20m×40mのサッカーコート2面)
- ・ 野外コンサート (約1000人規模の観客に対応)
- ・ 100m競争イベント (5～6レーン設置) など

## 2 令和4年度道路除雪実施計画の概要について

[道路河川管理課]

[土木事務所建設課]

### (1) 目的

積雪時において、市道の除雪を実施し道路交通の確保を行い、市民生活と産業経済活動の安定を図ることを目的とする。

また、過去の経験を教訓として、より一層の除雪レベルの向上と効率的な除排雪に努めるものとする。

### (2) 重点目標

- ア 効率的な除雪の推進
- イ 歩道除雪の推進
- ウ 市民との協働による除雪活動の推進
- エ 路面凍結防止対策の強化
- オ 国、県との連携強化による道路除雪の推進
- カ 除雪に関する情報の提供

### (3) 除雪等の出動基準

項目	主な出動基準
車道除雪	新降雪が10cmを超え、気象情報等から更に降雪深の増大が予想される時。
歩道除雪	歩道上の積雪深が20cmを超えたときを標準とする。
凍結防止剤散布	降雪の有無にかかわらず、気象情報等により気温が0℃以下になり、路面が凍結し交通障害の発生が予想される時。

### (4) 除雪体制の切り替えの基準

- ア 大雪警報が発表された場合もしくは発表される見込みの場合など
  - ・地域主導型除雪から市主導型除雪へ切り替える。
- イ 警報級の大雪が降った場合など
  - ・幹線優先除雪へ切り替える。  
(幹線優先除雪路線 富山駅根塚線など57路線 50.5km)

(5) 市民との協働による除雪活動について

ア 地域主導型除雪について

- ・各地域の降雪状況に応じて、地域の代表者（自治振興会長など）が、直接、除雪業者に新雪除雪の出動の要請を行う「地域主導型除雪」を富山市全域となる81地区で実施。

イ 住民への除雪機械の貸付けによる除雪活動の推進

- ・市民との協働による、きめ細かな除雪の推進を図るため、町内会等へ除雪機械の貸付けを行う。

町内会等への除雪機械貸出し台数

機械種別	台数	昨年比
大型除雪機械（スノーローダー1.3㎡級等）	16台	+5台
大型除雪機械（スノーローダー0.6㎡級等）	163台	+1台
小型（ハンドガイド）	213台	-7台
合計	392台	-1台

- ウ 地域の代表者などを対象に、道路除雪実施計画の見直しなどに関する説明会を毎年秋に開催（令和4年度は10月21日・24日に開催）。

- エ 次年度の道路除雪実施計画の見直しに向け、地域の代表者などと除雪に関する意見交換会を毎年5月ごろに実施。

(6) 県や交通事業者との連携について

ア 県管理道路への応援除雪

- ・主要地方道富山港線など 14路線 41.9km

イ 県との連携除雪

- ・県道と一連で除雪を実施する市道 24.6km
- ・市道と一連で除雪を実施する県道 13.1km

ウ 県管理道路との交差点除雪

- ・市道有沢29号線と主要地方道富山八尾線との交差点など  
67箇所

エ 県との雪捨場の共同利用

12箇所（市9箇所、県3箇所）

オ 大雪時における公共交通の円滑な運行確保に向けた、交通事業者との連携

- ・市と交通事業者との連絡体制や、大雪時にバス路線等を優先的に除雪する体制を整備。

(7) 情報の収集や発信について

ア 情報発信の強化

- ・地域主導型除雪と市主導型除雪の切り替えなどの情報をSNS、スマートフォンアプリなどにより発信。
- ・GPSトラッカーの導入拡大による除雪実施状況の公開。

イ 大雪時における市民からの問い合わせなどに対応するため、パトロール、情報処理の体制強化を図る。

(8) 道路除雪延長及び除雪機械台数等

項目	単位	数量	備考
車道除雪延長	km	1,847.2	
車道消雪延長	〃	667.0	町内消雪を含む
歩道除雪延長	〃	234.0	
歩道消雪延長	〃	23.9	町内消雪を含む
凍結防止剤散布延長	〃	92.0	
市保有機械	台	383	リース機械 308 台含む
業者保有機械	〃	534	
合計	〃	917	
委託業者数	社	340	